

④日本国特許庁(J.P.)

⑤実用新案出願公告

⑥実用新案公報(Y2)

昭63-20232

⑦Int. Cl.

⑧出願番号

⑨庁内整理番号

⑩公告 昭和63年(1988)6月6日

H 04 B 1/10
A 41 D 21/00

103

7314-5D
7149-3B

(全3頁)

⑪考案の名称 防寒用耳あて・ヘッドホーン等のヘッドバンド

⑫実 願 昭57-78393

⑬公 開 昭58-187594

⑭出 願 昭57(1982)5月29日

⑮昭58(1983)12月5日

⑯考 案 者 西 沢 正 治 東京都台東区浅草橋4丁目6番8号
⑰出 願 人 西 沢 正 治 東京都台東区浅草橋4丁目6番8号
⑱代 理 人 弁理士 佐々木 功
⑲査 査 官 大 野 寛 美

②実用新案登録請求の範囲

一端に筒状部が形成された二枚の弧状ばね体をそれぞれの筒状部に互いの弧状ばね体を遊挿して配設すると共に、該弧状ばね体の他方端に耳あて本体あるいはレシーバーに取付けられる導電性導線を一端に有する連結片の他端を回動自在に枢支したことを特徴とする防寒用耳あて・ヘッドホーン等のヘッドバンド。

考案の詳細な説明

本考案は、種防寒用耳あて・ヘッドホーン等の本体連結用に供するヘッドバンドの改良に関する。従来のこの種防寒用耳あて・ヘッドホーン等の本体連結用に供するヘッドバンドは二枚の弧状ばね体の一端に筒状部を形成し、この筒状部に互いの弧状ばね体を遊挿させて相互の弧状ばね体の重なる座面を可変させて長さ調節を行うようにした。

しかし、前記ヘッドバンドは唯単にヘッドバンドの長さ調節を行うだけであったため取扱い、保管する際に煩瑣でしまい不便であった。

本考案は上記の点に鑑みなされたもので、取扱い、保管時に煩瑣することのないように長さ調節と折り畳みとが行えるようにした防寒用耳あて・ヘッドホーン等のヘッドバンドを提供するものであつて、その要旨とするところは一方端に筒状部が形成された二枚の弧状ばね体をそれぞれの筒状部に互いの弧状ばね体を遊挿して配設すると共に、該弧状ばね体の他方端に防寒用耳あて本体あるいはレシーバーに取付けられる導電性導線を一端に有

する連結片の他端を回動自在に枢支したことを特徴とする防寒用耳あて・ヘッドホーン等のヘッドバンドにある。

以下、本考案を図面を参照して詳細に説明する。

第1図は本考案の防寒用耳あて・ヘッドホーン等の本体連結用に供するヘッドバンドの一実施例を示す斜視図、第2図は防寒用耳あてに應用したヘッドバンドを折り畳んだ状態を示す斜視図、第3図は耳あて本体とヘッドバンドとの遊設状態を示す断面図で、第1図乃至第3図において、1は防寒用耳あてあるいはヘッドホーン等の本体連結部に供するヘッドバンドにして、これは一端に筒状部2が形成された二枚の弧状ばね体3のそれぞれに互いの筒状部2を遊挿し、かつそれぞれの弧状ばね体3の他方端に連結片4の一端を回動自在に枢支したもので、この連結片4の他端には左右の耳あて本体5あるいはヘッドホーン本体(図示せず)が導電性導線6によつて導通され、防寒用耳あて7あるいはヘッドホーンが構成されることになる。

しかして、本考案のヘッドバンド1は二枚の弧状ばね体3のそれぞれの筒状部2に互いの弧状ばね体3を遊挿すると共に、他方端を連結片4を介して耳あて本体5に接合したものであるため、二枚の弧状ばね体3の適なり距離を可変させて長さ調節を行うことができると共に、防寒用耳あて7を取扱、保管する場合には二枚の弧状ばね体3の他方端に対しそれぞれに連結片4をほぼ直角に回

動させて左右の耳あて本体5に対しそれぞれの弧状ばね体3を平行に配することにより、第2図に示すように大弧状に耳あて本体5が弧状ばね体3を挟んで対設することになり、耳あて1を非常にコンパクトに折り畳むことのできるものである。

以上述べたとおり本考案のヘッドバンドは一方端に湾曲部が形成された二枚の弧状ばね体のそれぞれを互いの湾曲部に迎挿すると共に、該弧状ばね体の他方端に回動自在に連結片の一端を挿入し、この連結片の他端には耳あてあるいはヘッドホーン等の本体が録音機構を介して螺着されているので、二枚の弧状ばね体の重なる距離を可変することによりヘッドバンドの長さ調節を行うことができ、かつ耳あてあるいはヘッドホーン等の本体に対して平行に弧状ばね体を配することにより

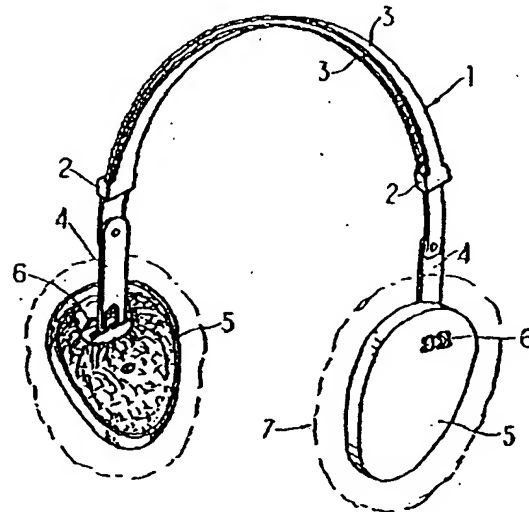
前記左右の本体を弧状ばね体を挟んで対設することができ、よつてこのヘッドバンドによって連結された前記本体は非常にコンパクトに折り畳むことができ、収納、保管の際に邪魔することもないのである。

図面の簡単な説明

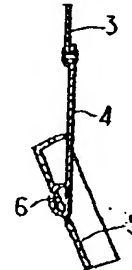
第1図は本考案の防寒用耳あて・ヘッドホーン等の本体連結用に供するヘッドバンドの一実施例を示す斜視図、第2図は防寒用耳あてに應用したヘッドバンドを折り畳んだ状態を示す斜視図、第3図は耳あて本体とヘッドバンドとの連結状態を示す断面図である。

1……ヘッドバンド、2……湾曲部、3……弧状ばね体、4……連結片、

第1図



第3図



(3)

美公 昭 63-20232

第2図

